



本会議を市役所ロビー（本庁舎1階）のテレビや市議会ホームページでご覧いただけます

一般質問

市民の声を反映

令和2年第2回定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。

保育施設にコロナ対策の指針を



自民党議員団
一瀬 裕子

問

①保育施設において3密の回避徹底は困難。市内保育施設の全面再開に当たり、新型コロナウイルスの感染予防をしながら保育機能を保つため、最低限押さえるべき点や注意点について一定のガイドラインを示す必要があるのではないかと、未就学児のマスク着用はリスクが多い。個別状況に応じて判断を。

①国からの情報はメール等で通知し、行事等の対応は民間園にも情報提供している。今後も対応に重要な判断が求められる局面が想定されるため、関係者との懇談等を通じ意見交換や情報共有を行いたい②職員は原則全員着用だが、園児

問

には求めている。高齢者がコロナ感染を恐れ、過度に外出を控え、フレイル（心身の機能低下）が進むことを懸念する。新しい生活様式の下、感染予防とフレイル予防の両立を前提に地域で可能な取り組みは。

答

地域での介護や見守り活動が従来どおり実施できていない状況となっており、取り組みの再構築が必要。国から示された▽サロン主催者が参加者宅を訪問し状況を確認する▽参加者が集会所に各自の近況を書いたカードを持ち寄り、集めて掲示する―等の事例を、社会福祉協議会に情報提供していく。

問

新型コロナウイルス感染症対策のため、市内小・中学校においてインターネット利用による学習環境整備が課題となっている。国からの予算措置で1人1台のタブレットが実現する運びだが、ネットワーク整備や人員の配置等、国の予算だけでは十分でないと考え。子どもたちの未来のために十分な投資をし、必要な教育ができるようにするためにも未来まちづくり基金から資金を出してはどうか。

答

基金は市の未来に向けたまちづくりのため充当してきたが、将来を担う子どもたちに期待し支援することもまちづくりを進

ICT環境整備に基金投入は



自民党議員団
奥村 文浩

問

める上での使命。将来のグローバル化・超スマート社会での子どもたちの活躍を願い、そのために必要なこの事業に基金を充当したい。近鉄寺田駅周辺整備事業の一環で、

答

地権者とまちづくりを進める行政の両面の立場から、地域にも市にもよりよい整備が図れるよう、まちづくり協議会と連携し地元や事業協力者と進めていきたい。